

特別な支援を必要とする子供への就学前から学齢期、社会参加までの切れ目ない支援体制整備

目的

- ①課題
 - ・教育・福祉・医療・労働分野等の関係部局や関係機関が連携した体制を整備し、支援する仕組の整備
 - ・各発達段階を通じ、円滑な情報の共有、引継ぎがなされるよう、就学前段階から就労段階にわたり、各学校等で個別の支援情報に関する「個別の教育支援計画」等を作成し、就学、進級、進学、就労の際に、記載された情報の取扱いについて十分配慮した上で、その内容が適切に引き継がれる仕組みの整備
- ②目的
 - ・船橋市特別支援連携協議会の開催及び作業部会を開催し、引き続き関係機関との連携を行いネットワークの構築に努める。
 - ・巡回相談員の派遣や、専門家チーム会議を実施する中で、切れ目のない支援の充実に向けて、確実な引継体制の構築と個別の教育支援計画の作成と活用について助言する。



成果

- ①得られた成果
 - ・それぞれのライフステージでの「ライフサポートファイル」の活用状況の調査や、学校と放課後等デイサービスとの連携状況の調査等を行った。
 - ・関係機関の円滑な情報の共有、引継ぎがなされるよう、「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」の書式や活用状況について情報交換した。また、就学前から学校卒業後までの相談機関について、保護者向けの「特別支援相談ハンドブック」を作成した。
- ②成果を踏まえた今後の取組
 - ・各所属で作成している引継ぎや「個別の指導計画」の書式の整理が必要なことや、保護者向けの「特別支援相談ハンドブック」の周知方法が課題となった。今後も引き続き関係機関と連携していく。

事業内容

連携した体制

- ・3年間、船橋市特別支援連携協議会（2回）の開催及び作業部会（2部会6回）を毎年開催した。
- ・関係機関へ引継ぎのための連絡票の周知を行った。

「個別の教育支援計画」などの活用内容

- ・3年間、巡回相談員の派遣（150回）、専門家チーム会議（3回）を毎年実施した。

普及啓発内容

- ・特別支援教育関係資料（リーフレット）の作成「みんなちがってみんないい」「きこえとことばの教室案内」「就学に向けて」「教育相談のご案内」を作成し関係機関へ配布した。
- ・障害のある子供たちと、その教育の理解を図るために船橋市特別支援教育振興大会の一環として、保護者、市民を対象にした教育講演会を開催した。

構築した支援体制図

